

# WhatsUp Gold 2024.0 リリースノート

---

WhatsUp Gold のバージョン 24.0 に実装された機能と拡張機能を記載します。このリリースに組み込まれた機能の選択と検証にはお客様からのご意見が役立っています。ご協力をどうもありがとうございました。WhatsUp Gold を継続的に改善するために、引き続きお客様からのご意見をお待ちしております。

## イントロダクション

フィードバックをお待ちしております

[WhatsUp Gold Community](#) の [WhatsUp Gold Customer Validation Program \(CVP\)](#) に参加して、当社の [アイデアエーションポータル](#) に製品に関するアイデアをお寄せください。

追加リリース

- サポートされるバージョン、パッチ適用/アップグレード、機能の廃止については、『[製品互換性ガイド](#)』を参照してください
- テクニカルサポートでどこまでカバーされるかについては、「[サポートの範囲](#)」を参照してください
- セキュリティの管理方法については、「[セキュリティガイドライン](#)」を参照してください
- WhatsUp Gold のシステム要件は、「システム要件」の項を参照してください

## WhatsUp Gold 2024.0 の新機能

---

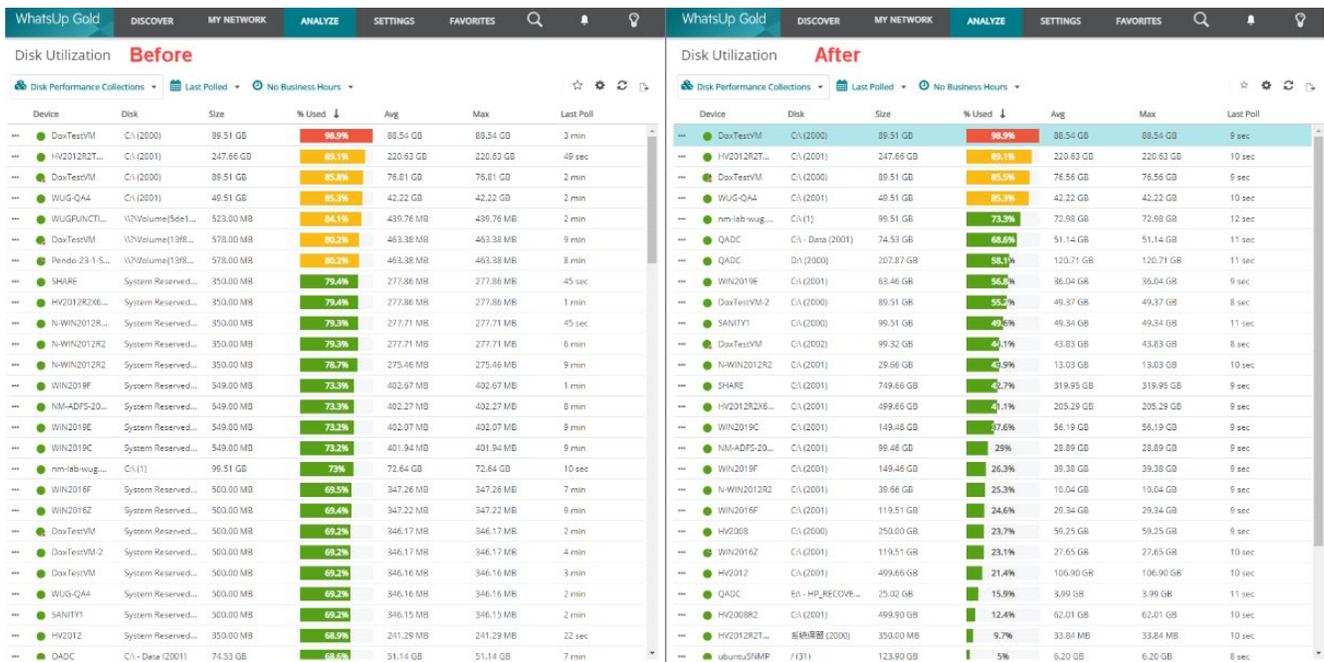
WhatsUp Gold の最新バージョンでは次の機能が実装、または改善されました。

- [無関係な監視データの除外](#)
- [アラートセンターの機能向上](#)
- [SNMP トラップ定義のインポート](#)
- [監視ライブラリ使用状況インジケータ](#)
- [アクション検証](#)
- [アクティブ監視の一括変更](#)
- [SFTP サーバー](#)
- [HTTPS のデフォルト設定](#)
- [MIB アップロードの改善](#)
- [監視用の Kerberos 認証](#)
- [デバイスプロパティの使いやすさの向上](#)
- [ダークモード](#)

### 無関係な監視データの除外

特定のパフォーマンスデータを収集対象から除外できるようになりました。デフォルトで除外される唯一のモニタは、ディスク使用率パフォーマンス監視で、デフォルトでは、Windows の「システム予約済み」パーティションからのデータは収集されなくなりました。フィル

ターを変更して、レポートする項目から、CPU 使用率、メモリ使用率、インターフェイス使用率、ディスク使用率を除外することができます。フィルターの更新/変更に関する使用事例をお知らせください。



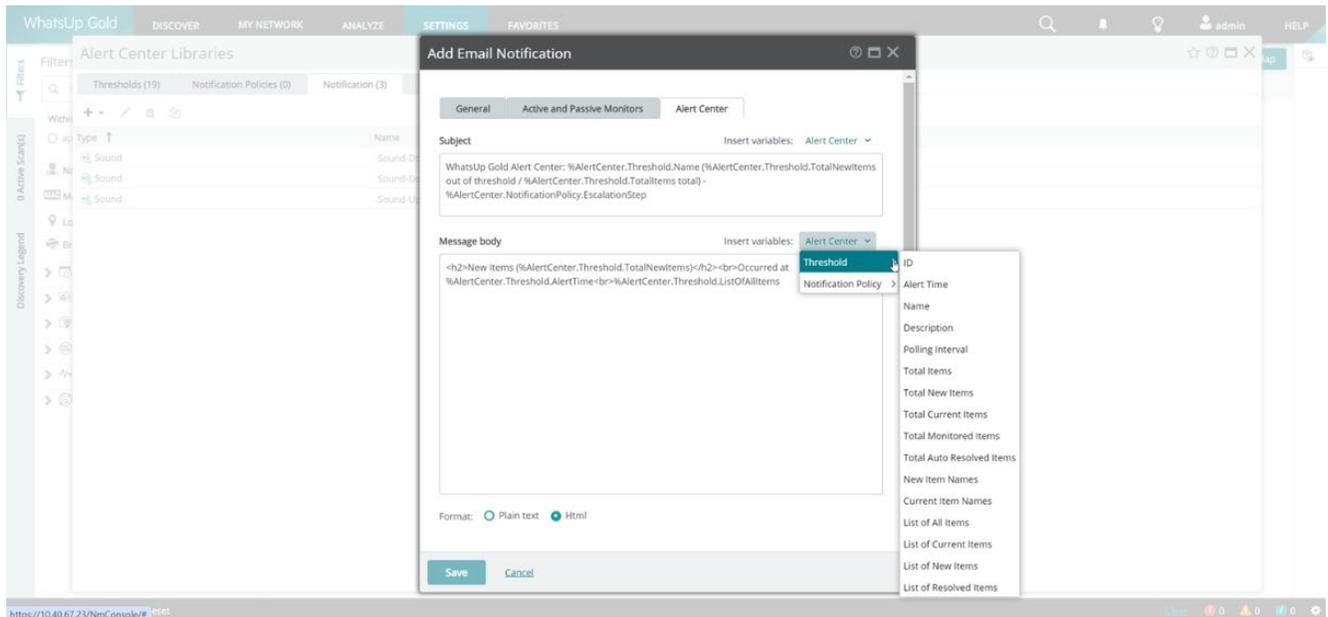
## アラートセンターの機能向上

アラートセンターに次の機能強化が加えられました。

- [電子メール通知を編集およびカスタマイズする機能](#)
- [デバイスがしきい値に戻ったときにトリガーされる通知を作成する機能](#)
- [通知タイプの追加](#)

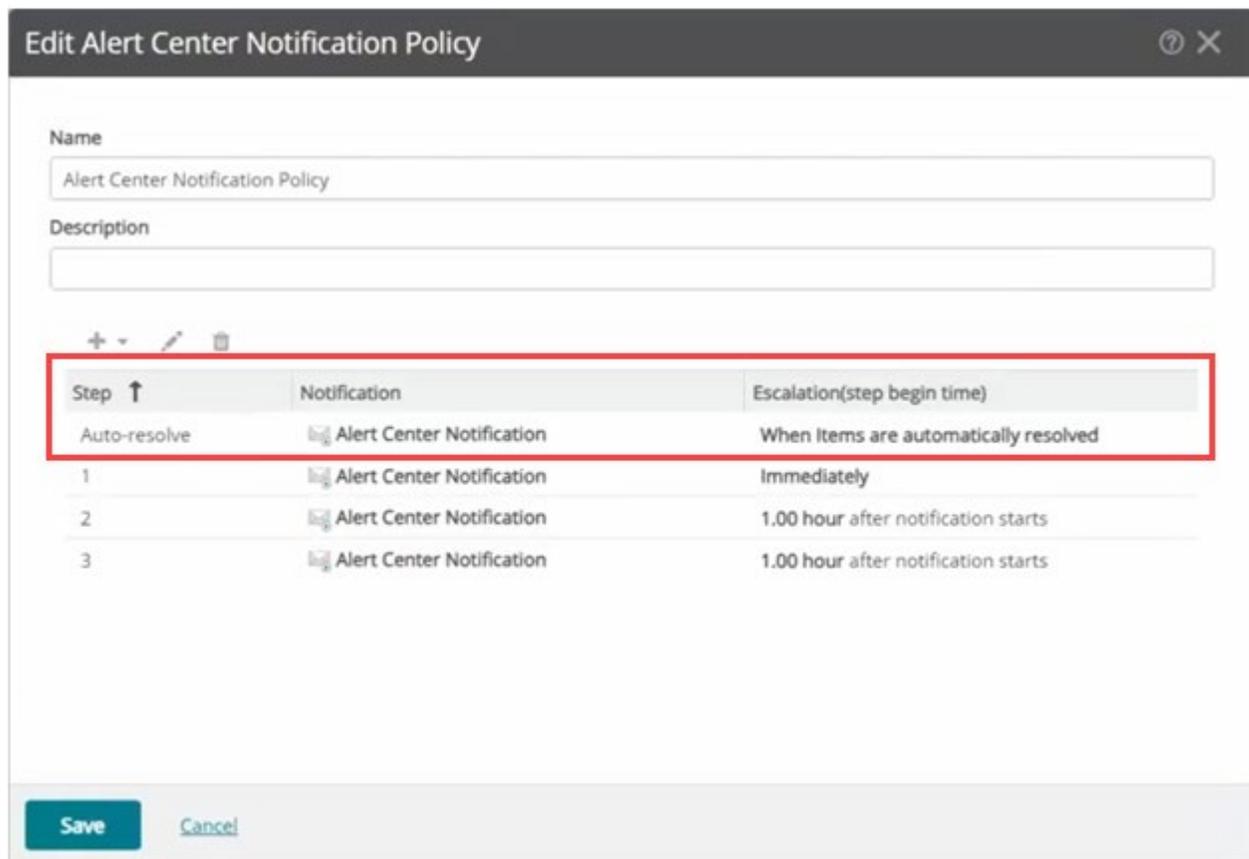
### 電子メール通知を編集およびカスタマイズする機能

WhatsUp Gold のこのバージョンでは、シンプルな設定インターフェイスを使用して、完全にカスタマイズ可能なメッセージ本文を含むアラートセンター電子メール通知を作成できます。デフォルトの通知メールの構造は以前のバージョンと同じですが、必要に応じて本文を編集したり、アラートセンターのパーセント変数でしきい値や通知ポリシーを挿入したりできるようになりました。また、プレーンテキストと HTML 形式の両方がサポートされるようになりました。詳細については、WhatsUp Gold ヘルプの [Email Action](#) を参照してください。



### デバイスがしきい値に戻ったときにトリガーされる通知を作成する機能

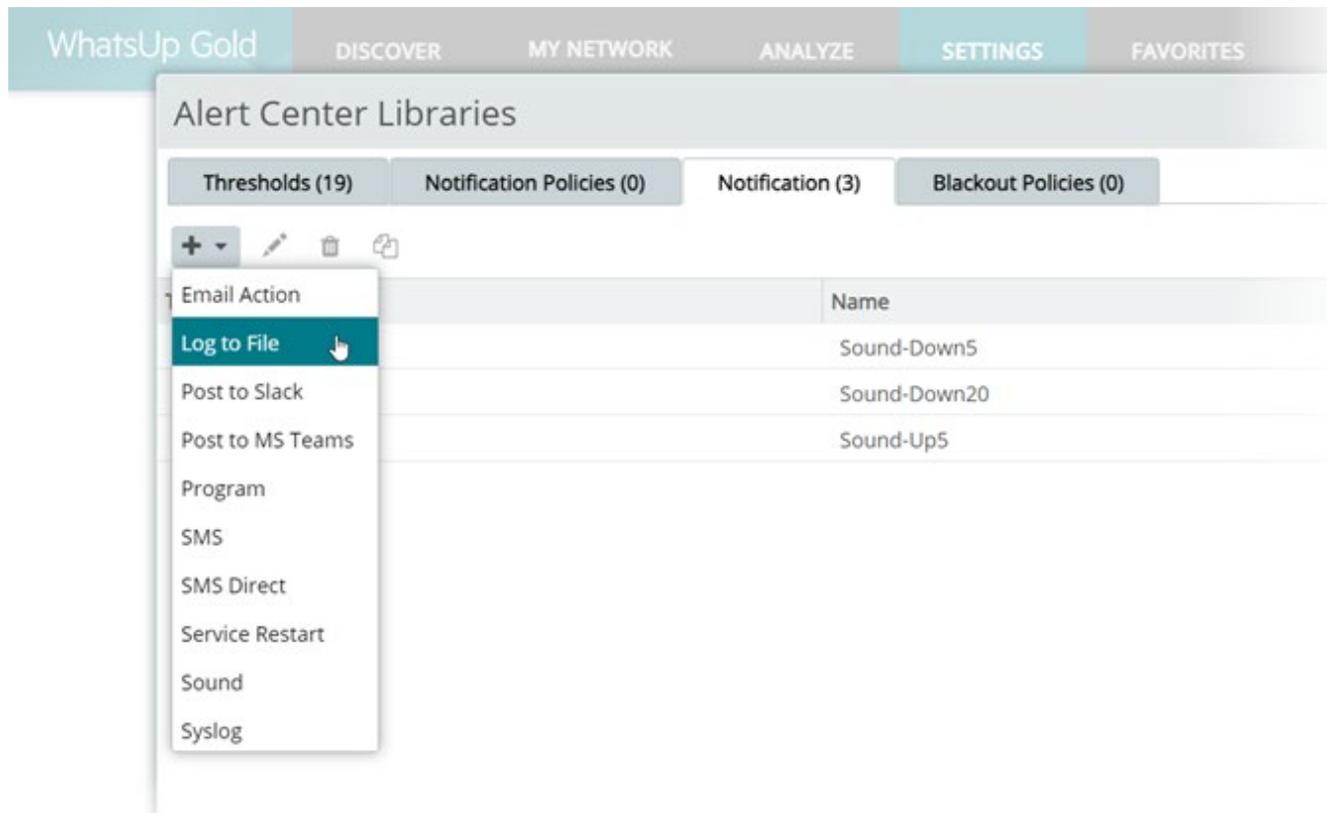
WhatsUp Gold の以前のバージョンでは、デバイスがしきい値を超えたときにのみアラートセンター通知をトリガーできましたが、新バージョンでは、デバイスがしきい値を下回る値に戻ったときにも通知をトリガーするように設定できるようになりました。アラートセンター通知ポリシーに、自動解決したときにトリガーする自動解決ステップが追加されました。詳細については、WhatsUp Gold ヘルプの [Notification Policies](#) を参照してください。



## 通知タイプの追加

電子メール、SMS、SMS ダイレクトに加えて、次の通知タイプをアラートセンターで設定できるようになりました。

- [ファイルにログ](#)
- [Slack に投稿](#)
- [プログラム](#)
- [サウンド](#)
- [Syslog](#)



## SNMP トラップ定義のインポート

管理コンソールアプリケーションではなく WhatsUp Gold Web ユーザーインターフェイスを使用して、パッシブ監視ライブラリに SNMP トラップをインポートできるようになりました。監視ライブラリを表示しているときに、[インポート] をクリックして [トラップ定義のインポート] ダイアログを起動します。表示されるトラップのリストには、通常 WhatsUp Gold サーバーの MIB フォルダにある MIB が入力されます。ダイアログの上部にある [検索] フィールドを使用して、トラップ名で特定の SNMP トラップを検索できます。目的のトラップ定義の左側にあるチェックボックスをオンにして、[インポート] をクリックします。単一の SNMP トラップが選択された場合は、その属性がダイアログの専用の [属性] セクションに表示されることに注意してください。

**重要:** データベースにすでに存在する SNMP トラップはインポートされません。

SNMP トラップが監視ライブラリに正常に追加されたら、[設定] メニューから [システム設定] > [パッシブ監視リスナー] を選択します。[SNMP トラップ設定] で [メッセージのリッスン] コントロールが有効になっており、ポート番号が正確であることを確認します。その後、[デバイスのプロパティ] インターフェイスを使用して、SNMP トラップをパッシブ監視としてデバイスに追加できます。

## Import trap definitions



Select trap definitions to be imported to the passive monitor library.



<input type="checkbox"/>	Trap Name	Enterprise ...	Generic	Specific	MIB Module
<input checked="" type="checkbox"/>	authenticationFailure	snmp	4	0	SNMPv2-...
<input type="checkbox"/>	warmStart	snmp	1	0	SNMPv2-...
<input type="checkbox"/>	coldStart	snmp	0	0	SNMPv2-...
<input type="checkbox"/>	linkUp	snmp	3	0	IF-MIB
<input type="checkbox"/>	linkDown	snmp	2	0	IF-MIB
<input type="checkbox"/>	imaFailureAlarm	atmflmaM...	6	1	IMA-MIB
<input type="checkbox"/>	casServerStateChange	cAAAServe...	6	1	CISCO-AA...

### Attributes

#### ENTERPRISE:

snmp

#### Access:

Unknown

#### Description:

An authenticationFailure trap signifies that the SNMP entity has received a protocol message

**Import**

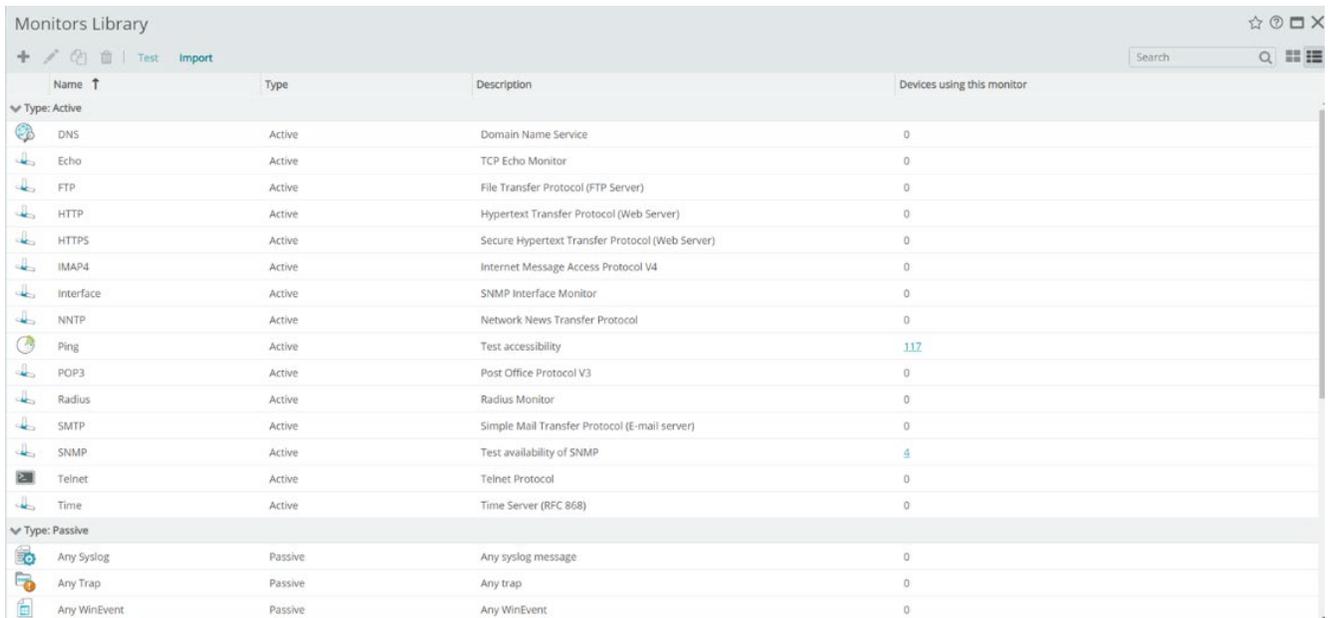
[Cancel](#)

Selected 1 of 1589

## 監視ライブラリ使用状況インジケータ

監視ライブラリは、WhatsUp Gold の監視に関する情報を表示する主要なインターフェイスですが、ユーザーに追加のインタラクティブなデータポイントを提供するようになりました。[このモニタを使用しているデバイス] 列に表示される各数字は、特定の監視が

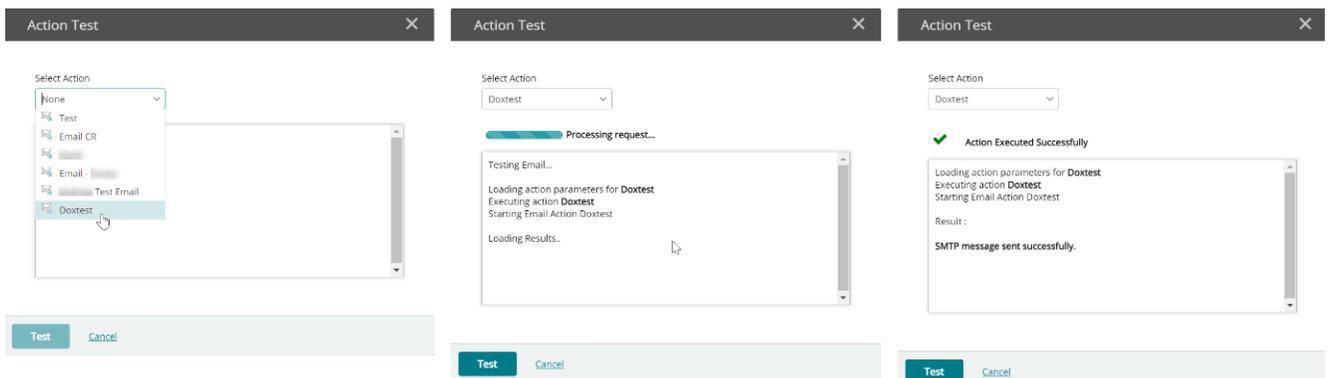
割り当てられているデバイスの数を表示します。デバイス数はハイパーリンクされており、クリックすると、そのモニタ用に事前フィルタリングされた [適用されたモニタ] レポートが起動します。



Name	Type	Description	Devices using this monitor
<b>Type: Active</b>			
DNS	Active	Domain Name Service	0
Echo	Active	TCP Echo Monitor	0
FTP	Active	File Transfer Protocol (FTP Server)	0
HTTP	Active	Hypertext Transfer Protocol (Web Server)	0
HTTPS	Active	Secure Hypertext Transfer Protocol (Web Server)	0
IMAP4	Active	Internet Message Access Protocol V4	0
Interface	Active	SNMP Interface Monitor	0
NNTTP	Active	Network News Transfer Protocol	0
Ping	Active	Test accessibility	<a href="#">117</a>
POP3	Active	Post Office Protocol V3	0
Radius	Active	Radius Monitor	0
SMTP	Active	Simple Mail Transfer Protocol (E-mail server)	0
SNMP	Active	Test availability of SNMP	<a href="#">4</a>
Telnet	Active	Telnet Protocol	0
Time	Active	Time Server (RFC 868)	0
<b>Type: Passive</b>			
Any Syslog	Passive	Any syslog message	0
Any Trap	Passive	Any trap	0
Any WinEvent	Passive	Any WinEvent	0

## アクション検証

WhatsUp Gold 管理コンソールアプリケーションを起動しなくても、アクションを検証できるようになりました。Web ユーザーインターフェイスで、WhatsUp Gold ユーザーインターフェイスの上部にあるメインメニューから [設定] > [アクションとアラート] > [アクションとポリシー] を選択して、[アクションとポリシー] ライブラリにアクセスします。アクションをテストするには、まず [アクション] タブが選択されていることを確認し、[テスト] リンクをクリックして [アクションテスト] ダイアログを起動します。表示されるドロップダウンメニューからアクションを選択し、[テスト] をクリックします。テストの結果を確認します。エラーが発生した場合は、必要に応じてアクションの設定を変更し、再度テストします。



現時点では、テスト機能は次のアクションで使用できます。

- [電子メール](#)
- [ファイルにログ](#)
- [Slack に投稿](#)
- [PowerShell スクリプト](#)

追加したいアクションがあれば、WhatsUp Gold 用の [Add a new idea ページ](#)からそのリクエストを送信してください。

## アクティブ監視の一括変更

アクションポリシー検索して一括してモニタに適用できるようになりました。次のことが可能です。

- [複数のデバイスでアクティブ監視を一括で割り当てまたは編集](#)
- [複数のデバイスでアクティブ監視のプロパティを一括で編集](#)
- [デバイスプロパティから監視を一括で追加](#)

### 複数のデバイスでアクティブ監視を一括で割り当てまたは編集

1. デバイスリストまたはマップビューを表示して、アクティブ監視を割り当てるデバイスを 2 つ以上選択します。
2. 右クリックして表示されるデバイスグループ管理アクションメニューを起動し、[デバイスの編集] > [監視] > [アクティブ監視] を選択してアクティブ監視の [プロパティ] ダイアログを起動します。
3. ダイアログの上部にある該当するラジオボタンを選択して、モニタを割り当てるか割り当てを解除するかを指定します。
4. 各モニタの左側にあるチェックボックスをクリックして、[モニタの割り当て] / [モニタの割り当て解除] のどちらかを選択します。検索フィールドにモニタの名前を入力すると指定したいモニタをすぐに見つけられます。
5. [次へ] をクリックします。
6. すでにアクションポリシーが割り当てられているモニタとともにアクションポリシーを選択することもできます。[モニタの割り当て] を選択した場合は、アクティブ監視の [プロパティ] ダイアログに戻るよう促されたら [OK] をクリックします。
7. [完了] をクリックします。

Active Monitor Properties

What type of Active Monitors would you like to add or remove to this device?

Assign monitors  Unassign monitors

Search

Monitor

Office 365

Percent free space

Ping

POP3

Power supply

Radius

SMTP

SNMP

SNMP2

State of TCP connection

Back Next Finish Cancel

## 複数のデバイスでアクティブ監視のプロパティを一括で編集

1. デバイスリストまたはマップビューを表示して、アクティブ監視を割り当てるデバイスを2つ以上選択します。
2. 右クリックして表示されるデバイスグループ管理アクションメニューを起動し、[デバイスの編集] > [監視] > [アクティブの監視プロパティ] を選択して [アクティブ監視プロパティ] ダイアログを起動します。
3. ダイアログの上部で、各モニタの左側にあるチェックボックスをクリックして、プロパティを変更するモニタを選択します。
4. 次に、変更したいプロパティについて、各プロパティの左側にあるチェックボックスをクリックします。
5. 必要に応じて、ダイアログで選択した各プロパティの下の内容をコントロールを使用して編集します。
6. [OK] をクリックします。

### Active Monitor Properties

Choose an active monitor to change its properties

- Active monitor found in the selected devices
- Ping
- Telnet
- HTTPS

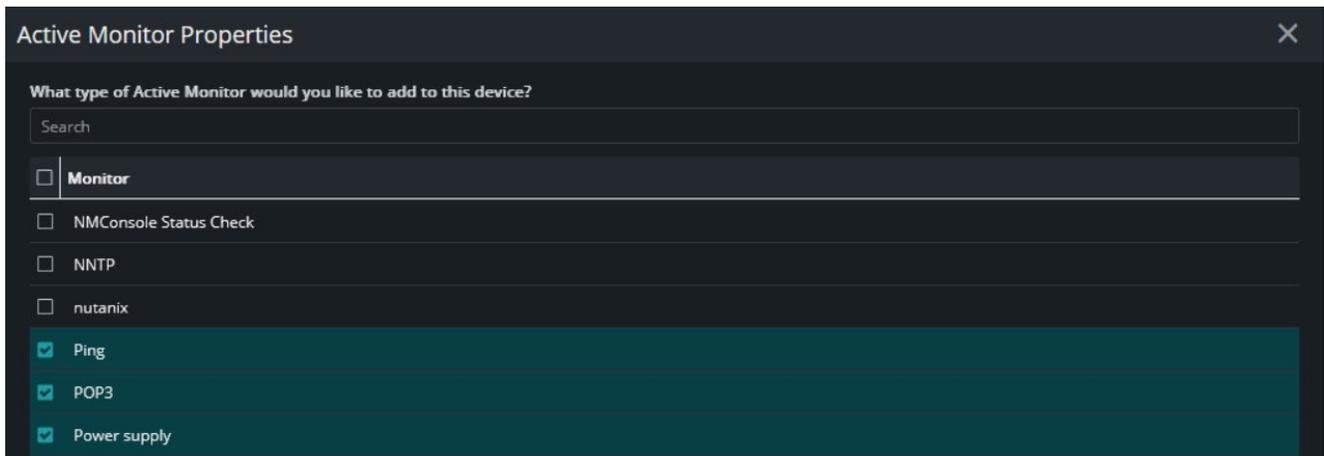
#### Active Monitor Properties

- Polling
  - Enable
  - Disable
- Polling Interval
  - Use default
  - Use independent  seconds
- Action Policy
  - None
  - Set to
- Argument
  - None (Clear argument)

**OK** [Cancel](#)

## デバイスプロパティから監視を一括で追加

1. デバイスリストまたはマップビューを表示して、任意のデバイスを選択し、[デバイス情報カード] を起動します。
2. 情報カードの左上隅にあるプロパティアイコンをクリックして、選択したデバイスの [デバイスプロパティ] を起動します。
3. [モニタ] タブが選択されていることを確認します。
4. [追加] アイコンをクリックします。
5. 各モニタの左側にあるチェックボックスをクリックして、デバイスに追加するモニタを選択します。検索フィールドにモニタの名前を入力すると指定したいモニタをすぐに見つけられます。
6. [次へ] をクリックします。
7. ここでは、モニタのポーリングを有効にしたり、ポーリング用の特定のネットワークインターフェイスを選択したり、必要に応じて高度なポーリングオプションを設定したりできます。
8. [次へ] をクリックします。
9. 必要な場合は、表示される画面で、モニタに適用したいアクションポリシーを選択することもできます。
10. [完了] を選択して、[デバイスプロパティ] に戻ります。



## SFTP サーバー

WhatsUp Gold 24.0 のインストールまたはアップグレードが成功すると、設定管理で使用するために、ローカルの WhatsUp Gold マシンに SFTP/SCP サーバーが自動的にインストールされます。SFTP および SCP ファイル転送設定は、すぐに使用できます。[設定] メニューから [設定管理] > [ファイル転送設定] を選択して、ファイル転送設定にアクセスします。

## File Transfer Settings

☆ ? ✕

▼ SFTP Settings

SFTP transfer completion timeout (seconds)

30

Cleanup all SFTP transfer files created by Configuration Management

Server Settings

Username	IP Address
WhatsUpGold	
Password	Port
.....	22
Verify Password	SFTP transfer command timeout (seconds)
	30

Root Directory

C:\SFTPServerData

Client Settings

**Save** Cancel

**重要:** SFTP または SCP が既に設定されている場合、WhatsUp Gold は既存の設定を上書きしません。

**重要:** SFTP サーバー設定に加えられた変更は、WhatsUp Gold 設定管理の [ファイル転送設定] ダイアログ内でも更新する必要があります。

## HTTPS のデフォルト設定

WhatsUp Gold では、インストールまたはアップグレード中に HTTP を選択できなくなりました。WhatsUp Gold 2024.0 以降にアップグレードすると、Web インターフェイスと REST API は自動的に HTTPS に移行されます。

**重要:** 既存の REST API 統合がある場合は、HTTP ではなく HTTPS を使用するように更新する必要がある場合があります。

**Progress<sup>®</sup>**  
WhatsUp<sup>®</sup> Gold

✓ WELCOME  
✓ EULA  
✓ SYSTEM CHECK  
✓ LICENSE  
➔ **OPTIONS**  
INSTALL  
FINISH

## Certificate For HTTPS Binding

Please select the certificate option to be used for the new HTTPS binding.

**Select From Certificate Store**  
Self-signed certificate for WhatsUp Gold View Details

**Import Certificate From File**  
Browse View Details  
Password:

**Generate Self-Signed Certificate**  
Certificate Friendly Name:  
Self-signed certificate for WhatsUp Gold

Cancel Back Next

## MIB アップロードの改善

WhatsUp Gold では、次の操作を実行できるようになりました。

- サイズが 2MB を超える MIB ファイルのアップロード
- 複数 MIB ファイルの一括アップロード

### サイズが 2MB を超える MIB ファイルのアップロード

WhatsUp Gold の以前のバージョンでは、アップロードできる MIB ファイルのサイズは 2MB までという制限がありました。この制限が 8MB に引き上げられました。容量が拡張され、データセットと設定の処理をより広範に行えるようになりました。

1. [設定] メニューから [システム設定] > [SNMP MIB マネージャー] を選択して、[SNMP MIB マネージャー] を起動します。
2. [追加] アイコンをクリックして、[MIB ファイルのインポート] ダイアログを起動します。
3. [ファイルの選択] をクリックします。
4. アップロードする MIB ファイルが現在保存されている場所を検索し、MIB ファイルを選択してから、[開く] をクリックして [MIB ファイルのインポート] ダイアログに戻ります。選択したファイルが 8MB 未満であり、ファイル拡張子がサポートされているタイプ (.txt、.mib、.my、または .zip) であることを確認します。

## 複数 MIB ファイルの一括アップロード

以前のバージョンでは一度に 1 つの MIB ファイルしかアップロードできませんでしたが、複数のファイルを一度にアップロードできるようになりました。一緒に処理する必要があるデータが複数の MIB ファイルにある場合、簡単に管理できます。複数の個別の MIB ファイルをアップロードする手順は上述の手順とほぼ同様ですが、手順 4 が異なります。

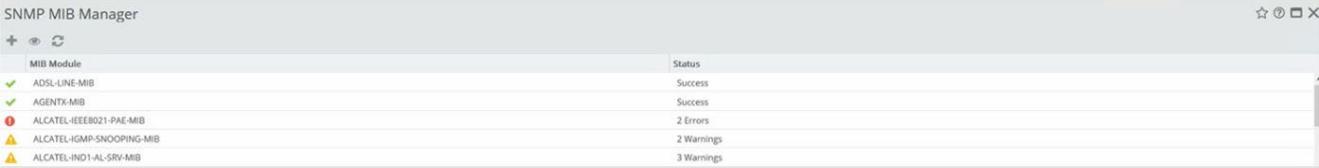
1. [設定] メニューから [システム設定] > [SNMP MIB マネージャー] を選択して、[SNMP MIB マネージャー] を起動します。
2. [追加] アイコンをクリックして、[MIB ファイルのインポート] ダイアログを起動します。
3. [ファイルの選択] をクリックします。
4. アップロードする MIB ファイルが現在保存されている場所を検索し、Ctrl キー (Windows の場合) または Command キー (Mac の場合) を押しながら該当するファイル名をクリックしてアップロードする MIB ファイルを選択し、[開く] をクリックして [MIB ファイルのインポート] ダイアログに戻ります。複数の MIB ファイルを含む単一の圧縮 (.zip) フォルダを選択してアップロードすることもできます。アップロードするファイルまたは圧縮フォルダの合計サイズが 25 MB 未満であることを確認してください。

アップロードプロセスが完了すると、選択した各ファイルのステータス (成功、失敗、重複など) を示す概要ダイアログが表示されます。アップロード用に選択した MIB ファイルが WhatsUp Gold に既に存在するものと重複している場合は、置き換えるか無視するかを選択するよう求められます。

## 追加情報

MIB ファイルが WhatsUp Gold にアップロードされると、[SNMP MIB マネージャー] インターフェイスには、次の 3 つのステータスのいずれかが表示されます。

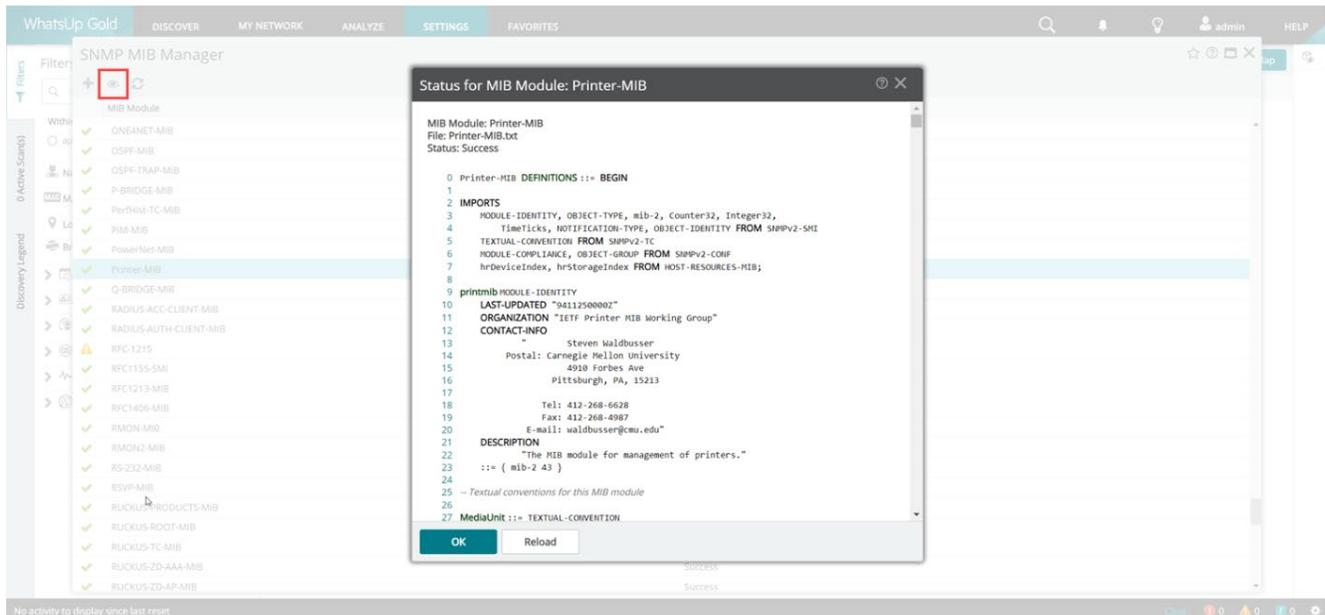
- **成功**。緑のチェックマークが表示された MIB は正常にアップロードされたため、これ以上の操作は必要ありません。
- **警告**。黄色の感嘆符が表示された MIB は正常にアップロードされましたが、潜在的な問題があります。
- **エラー**。赤の感嘆符が表示された MIB は正常にアップロードされましたが、エラーが含まれています。



MIB Module	Status
ADSL-LINE-MIB	Success
AGENTX-MIB	Success
ALCATEL-HEEB021-PAE-MIB	2 Errors
ALCATEL-HGMP-SNOOPING-MIB	2 Warnings
ALCATEL-IND1-AL-SRV-MIB	3 Warnings

MIB を選択し、[表示] アイコンをクリックすると、MIB の内容と次の詳細を示すダイアログが起動します。

- MIB モジュール
- ファイル名
- ステータス
- エラーまたは警告に固有の情報 (存在する場合)



## 監視用の Kerberos 認証

デバイスの監視に Kerberos 認証を使用できるようになりました。Windows 認証プロトコルの設定は、[一般設定] ダイアログ ([設定] > [システム設定] > [一般設定]) 内で切り替えることができます。

### WMI Authentication Protocol

Choose a method for WMI device authentication. Kerberos offers a more secure authentication method, though it requires additional configuration on your network devices and domain controller for successful use. Please note, some devices are incompatible with Kerberos. Examples include but are not limited to non-domain-joined devices, devices with no Windows domain account credentials assigned, and devices for which WhatsUp Gold cannot obtain host names (as registered with the default HOST Service Principal Name (SPN) of the devices). We recommend enabling both options to ensure uninterrupted monitoring in case of compatibility issues with either method.

NTLM  Kerberos ⓘ

両方のオプションが有効になっている場合、WhatsUp Gold は最初に Kerberos を使用してデバイスを認証し、Kerberos が失敗した場合にのみ NTLM を使用します。

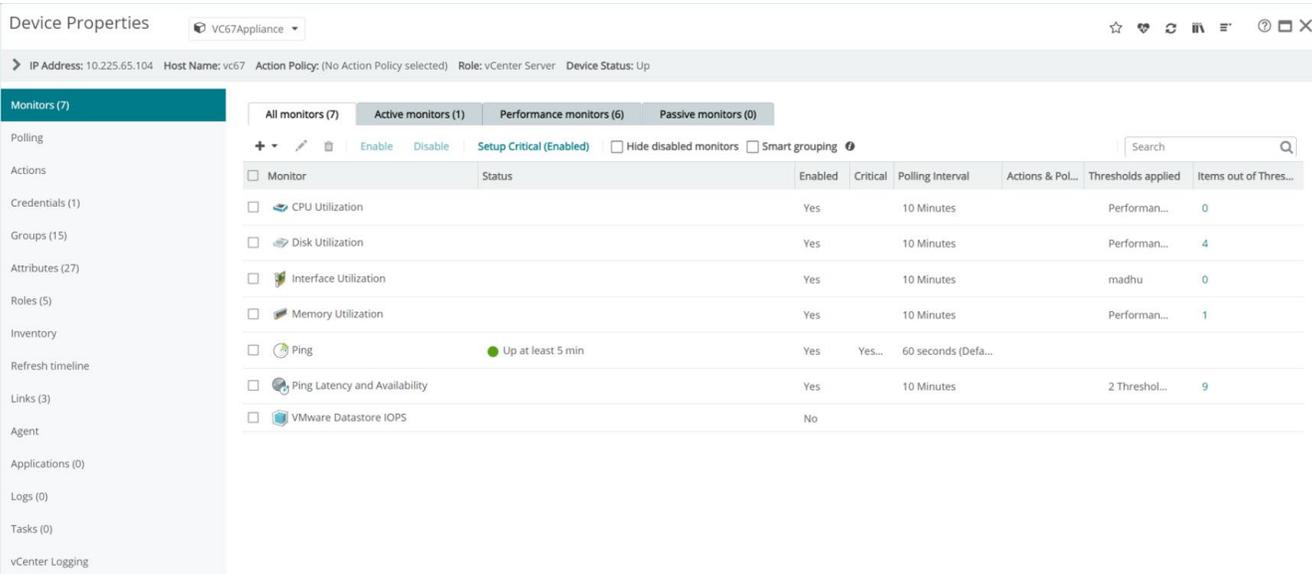
**重要:** Kerberos が設定された環境で互換性を保つには、デバイスに次の条件が必要です:

- WhatsUp Gold のホスト名がドメイン内のサービスプリンシパル名 (SPN) と一致するデバイスであること
- デバイスはドメインに追加されていること
- Windows ドメインアカウントの資格情報を持つデバイスであること

NTLM を無効にすると、この条件を満たさないデバイスへの WMI アクセスが防止されます。

## デバイスプロパティの使いやすさの向上

[デバイスプロパティ] のデバイス概要セクションを開いてスペースを広く確保できるようになりました。ヘッダーには重要なデバイス情報が表示されます。モニタのリストが長いデバイスを表示する場合、便利です。さらに、モニタのセクションで個別のタブを利用できるようになり、割り当てられたモニタを単一のビューで表示したり、モニタの種類別に分類して表示したりできるようになりました。



The screenshot shows the 'Device Properties' page for a vCenter appliance. The 'Monitors (7)' section is active, displaying a table of monitors. The table has columns for Monitor, Status, Enabled, Critical, Polling Interval, Actions & Pol..., Thresholds applied, and Items out of Thres... The following table represents the data shown in the screenshot:

Monitor	Status	Enabled	Critical	Polling Interval	Actions & Pol...	Thresholds applied	Items out of Thres...
<input type="checkbox"/> CPU Utilization		Yes		10 Minutes		Performan...	0
<input type="checkbox"/> Disk Utilization		Yes		10 Minutes		Performan...	4
<input type="checkbox"/> Interface Utilization		Yes		10 Minutes		madhu	0
<input type="checkbox"/> Memory Utilization		Yes		10 Minutes		Performan...	1
<input type="checkbox"/> Ping	● Up at least 5 min	Yes	Yes...	60 seconds (Defa...			
<input type="checkbox"/> Ping Latency and Availability		Yes		10 Minutes		2 Threshol...	9
<input type="checkbox"/> VMware Datastore IOPS		No					

## ダークモード

WhatsUp Gold をダークモードで表示できるようになりました。ユーザーごとに、また個々の設定ごとに設定できます。ユーザーインターフェイスの右上隅で、現在 WhatsUp Gold にログインしているユーザーアカウントの名前をクリックし、[ユーザー設定] を選択します。表示されるダイアログの [テーマ] セクションで [ダーク] を選択し、[保存] をクリックします。



The screenshot shows the 'WhatsUp Gold' interface in dark mode. The main area displays a network topology diagram with nodes and connections. The interface includes a top navigation bar with 'MY NETWORK', 'ANALYZE', 'SETTINGS', and 'FAVORITES'. A search bar and user profile 'doxtest' are visible in the top right. The bottom status bar shows a 'MONITOR' alert for 'RuckusZF-R500-AP' with a 'Ping' status of 'Ping is Down [22 sec ago]'. The bottom right corner has a 'Device List' button and a 'Clear' button.

## 更新および改善

### v24.0 での更新および改善

機能エリア	項目	説明
設定管理	WUG-16326	アーカイブされたバックアップ設定をエクスポートすると、テキストにエクスポートするときに常に最新のバックアップが選択される。
設定管理	WUG-16233	監査ポリシー監査レポートが不正確。
検出	WUG-16198	HTTP コンテンツ監視の認証メカニズムが選択された状態にならない。
検出	WUG-16197	HP Color LaserJet Pro が原因で検出サービスがクラッシュする。
モニタ	WUG-16175	HP iLO 5 Proliant ファームウェアを 3.01 にアップグレードすると、モニタが変更され、ディスクモニタが表示されない。
ポーリング	WUG-16152	CISCO ASA Firepower デバイスが CPU 使用率に関して間違った OID をポーリングする。
検出	WUG-16078	保存された検出スキャンの属性のリセットが選択されたままにならない。
ロール	WUG-15929	Konica Minolta プリンターに間違ったロールが割り当てられる。
ロール	WUG-15925	Palo Alto デバイスロールが正しく設定されていない。
ロール	WUG-15915	スキャンルール「SNMP オブジェクトには…を含むチャイルドが存在します」が、正しく翻訳されていない文字列名を持つ。
モニタ	WUG-15820	23.1.1 にアップグレードした後、SNMP ベースのアクティブ監視が失敗する。
設定管理	WUG-15810	スケジュールされたバックアップタスクで、「バックアップの数を制限しない」を有効にできない。
アクション	WUG-15777	VMware アクションは、選択した VM を維持しない。
レポート	WUG-15776	HTTPS へのアップグレード後、スケジュールされたレポートが失敗する。
インストーラー	WUG-15756	インストーラーは、期限切れの自己署名証明書を自動的に再生成する必要がある。
警告	WUG-15745	アラートセンター通知ポリシーのエスカレーション手順を編集できない。
ダッシュボード	WUG-15744	ホームダッシュボードウィジェットの「SNMP の詳細」で、sysuptime が正しく翻訳されていない。
ロール	WUG-15742	[デフォルトにリセット] を選択した後も、ロールとサブロールは変更済みとして表示される。
アクション	WUG-15735	Windows の地域設定をイタリア語または英語 (UK) に設定すると、アラートセンターエラーが発生する。
モニタ	WUG-15734	23.1.1 にアップグレードした後、パッシブ監視が動作しなくなった。
ロール	WUG-15687	Adtran デバイスは、すべてのインターフェイスのアクティブ監視を追加しない。
SNMP	WUG-15608	MIB ブラウザに「OID 変換中にエラーが発生しました。結果のラベルが大きすぎます。」というエラーが表示される。
検出	WUG-15575	[モニタを再スキャン] を使用しても再スキャンが追加されない。
レポート	WUG-15557	環境モニタのタイムアウトによって、レポートとダッシュボードで「完全にダウン」ではなく「モニタがダウン」アイコンが表示され、状態が不明になる。
モニタ	WUG-15390	サービスモニタで、サービスが実行中であるにもかかわらず、ダウンしていると表示される。
グループ	WUG-15382	IP グループ TLD は、ドメインに基づいて初期化する必要がある。
モニタ	WUG-15325	Linux デバイスでメモリ使用率がマイナスで表示される。
レポート	WUG-15297	NOC フルスクリーンオプションには、人間の介入が必要になる。
レポート	WUG-15264	[デバイスプロパティ] > [タスク] で「作成された時間」列が正しくソートされない。
モニタ	WUG-15136	ログ管理が存在しない場合にログ管理ポートが開く。
SNMP	WUG-14979	新しい SNMP MIB Walker は列挙型を表示しないようで、整数として表示される。
検出	WUG-14924	検出中に Cisco デバイスに誤ったコミュニティ文字列が表示される。
SNMP	WUG-14917	新しい MIB Walker を使用すると、「値が Int32 に対して大きすぎるか小さすぎます。」というエラーが返される。

モニタ	WUG-14840	Windows イベントパッシブ監視は、リスナーが無効であっても Windows イベントを収集する。
レポート	WUG-14608	NOC ビューアが自動更新されない。
ワイヤレス	WUG-14153	いくつかの AP がクライアントまたはパフォーマンスデータを表示しない。
ワイヤレス	WUG-14095	ワイヤレスクライアントグループを作成するとき、Mac アドレスの 16 進文字にすべて大文字を強制される。
モニタ	WUG-13880	WMI モニタが安全でない認証を使用している。
モニタ	WUG-13823	Xerox B400 プリンターが、フューザーを交換する必要があるかどうかを、パーセンテージではなく、はい/いいえで報告する。
レポート	WUG-13747	IP/MAC インベントリがタイムアウトをレポートする。
検出	WUG-13492	SNMP 認証情報を持つデバイスは、デバイスの詳細の更新が実行されたときにしか、表示名が FQDN に変更されない。
サービス	WUG-13231	networkviewerdataservice.exe で未処理のサービス例外を修正。
設定管理	WUG-12664	デバイスプロパティのタスクが正しくソートされない。
レポート	WUG-12627	パフォーマンス監視から削除されたインターフェイスが、インターフェイスの詳細ダッシュボードに引き続き表示される。
モニタ	WUG-12545	2TB を超えるメモリを持つ SUSE Linux デバイスのメモリ使用率が表示できない。
モニタ	WUG-12383	AIX プロセスモニタが実行可能ファイルを持つ hrSWRunPath からのプロセスを表示する。
アクション	WUG-10145	APM SMS アクションがフィールドを保存しない。
レポート	WUG-10093	レポート列フィルターの問題。
レポート	WUG-9784	スケジュールされた電子メールによるレポートの送信に失敗する。
ログ管理	WUG-9028	ログ管理を削除する機能。
設定管理	WUG-8160	FortiOS バックアップが失敗する。
レポート	WUG-7335	週次レポートでデバイスのステータスが正しく表示されない。
モニタ	WUG-6979	SSH アクティブ監視が大きな出力を生成するコマンドから結果をスクレイピングするとき失敗する。
検出	WUG-6394	DisplayName コンテキスト変数が何も返さない。
ワイヤレス	WUG-6021	Aruba 305 Autonomous AP がワイヤレスデータを収集できない。
設定管理	WUG-2429	設定管理ファイル転送に SCP を活用できない。
モニタ	WUG-1673	SSH モニタがスクリプト出力をチェックしない。
モニタ	WUG-818	「アクティブインターフェイス」に設定すると、インターフェイスパフォーマンス監視がエラーを出す。
セキュリティ	WUG-16294	<a href="#">CVE-2024-6670</a>
セキュリティ	WUG-16295	<a href="#">CVE-2024-6671</a>
セキュリティ	WUG-16415	<a href="#">CVE-2024-6672</a>

## 既知の問題

機能エリア	項目	説明	回避策
ユーザーインターフェイス	WUG-16636	検出マップをお気に入りとして追加しようとすると、ユーザーインターフェイスが壊れ、検出マップをお気に入りに表示することも、検出されたネットワークデバイスリストを表示しているときに [マップの表示] ボタンをクリックしても表示できなくなる。	現時点では、検出されたネットワークマップをお気に入りとして正常に追加できません。ブラウザのキャッシュをクリアして更新してください。その後、WhatsUp Gold に再度ログインし、検出されたネットワークマップをお気に入りライブラリから削除してください。

ユーザーインターフェイス	WUG-16711	バージョン 24 では、PowerShell アクションを追加した場合、最初に [アラートセンター] タブをクリックしない限り、アクションを保存できない。	PowerShell アクションを追加した場合、[保存] ボタンをクリックする前に、[アラートセンター] タブをクリックしてください。
--------------	-----------	---	---

## 理解すべき事項

---

**重要:** MySQL データベースを監視するには、MySQL .NET Connector をダウンロードして WhatsUp Gold マシンにインストールしてください。互換性の問題が発生する可能性があるため、WhatsUp Gold の最新バージョンは MySQL .NET Connector バージョン 8.0.21 のみをサポートしていることに注意してください。アプリケーション監視機能や SQL Query アクティブまたはパフォーマンスモニタを使用している場合は、コネクタをダウンロードしてバージョン 5.2.5 から 8.0.21 にアップグレードする必要があります。MySQL.NET Connector は、<https://downloads.mysql.com/archives/c-net/> からダウンロードできます。

**重要:** WhatsUp Gold をアップグレードする前にエージェントを展開して使用していた場合は、利用可能な修正や更新された機能を適用するためにエージェントを再展開する必要があります。エージェントを再展開し、WhatsUp Gold のアップグレードを完全に完了させるには、WhatsUp Gold エージェントを展開する権限を持つ管理者アカウントを使用して WhatsUp Gold にログインしていることを確認します。次に、メインメニューから [設定] > [WhatsUp Gold エージェント] > [エージェントのライブラリ] に移動します。ライブラリに表示されている既存のエージェントをすべて選択し、[エージェントの展開] をクリックします。このプロセスでは、5 つのエージェントを一括で更新します。大量のエージェントを展開している場合、このプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。

次の WhatsUp Gold ドキュメントも参照してください。

[ライフサイクル情報](#)

[ライフサイクルポリシーガイド](#)

[製品互換性ガイド](#)

[アイディエーションポータル](#)

[サポートの範囲](#)

[セキュリティガイドライン](#)

# システム要件

## ハードウェア要件のガイドライン

ハードウェア要件は WhatsUp Gold の設定に応じて異なります。監視対象デバイス数、モニタ数、モニタのタイプ、ポーリング間隔やその他の構成オプションが増えると、サーバーとデータベースにかかる負荷がさらに増大する可能性があります。環境のパフォーマンスを最適化するには、ハードウェア構成を調整する必要がある場合があります。

### サーバーの最小推奨事項

	100 台のデバイス / 500 のメトリック* 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック* 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック* 最小要件
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
プロセッサ速度	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上
RAM	8 GB	16 GB	WhatsUp Gold サーバー:16 GB 専用 SQL Server: 32 GB (64 GB 推奨)
データベースの種類	SQL Server 2022 Express Edition	専用 SQL Server 2017/2019/2022	専用 SQL Server 2017/2019/2022
ハードドライブ	25 GB 以上の空き領域	<b>OS/アプリケーション</b> - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 <b>データベースファイル</b> - 4 x 100 GB の RAID 10	<b>OS/アプリケーション</b> - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 <b>データベースファイル</b> - 8 x 250 GB の RAID 10 <b>ログファイル</b> - 2 x 100 GB の RAID 0 <b>一時データベースファイル</b> - 2 x 250 GB の RAID 0 SQL Server のデータベースファイルとログファイルの移動の 詳細については、 <a href="#">How to migrate the WhatsUp Gold database</a> を参照してください。
ネットワークインタフェースカード	最小 100 Mbps (1 Gbps 推奨)	100 Mbps (1 Gbps 推奨)	1 Gbps
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要

\*データベースに格納された各データポイントはメトリックとしてカウントされ、WhatsUp Gold はモニタごとに複数のメトリックを収集する場合があります。

## WhatsUp Gold にアクセスするための推奨事項

リモートマシンにインストールされているブラウザを使用して、WhatsUp Gold サーバーにアクセスすることをお勧めします。  
WhatsUp Gold サーバーにアクセスする場合は、最適なパフォーマンスを得るために、次の仕様に従ってください。

	100 台のデバイス / 500 のメトリック 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック 最小要件
RAM	8 GB	8 GB	16 GB
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
ビデオ表示解像度	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要

## オペレーティングシステム要件

WhatsUp Gold は次の Windows Server プラットフォームをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2016

評価目的では、WhatsUp Gold は Windows 10 および 11 で動作します。ただし、実稼働レベルのサポートには Windows Server バージョンが必要です。

- ドメインコントローラへの WhatsUp Gold のインストールはサポート対象外です。
- WhatsUp Gold が仮想環境でホストされている場合は、ライセンスの問題を防ぐために、WhatsUp Gold が動作している仮想マシンに静的 MAC アドレスを必ず割り当ててください。仮想マシンへの静的 MAC アドレスの割り当てについては、仮想マシンソフトウェアのヘルプドキュメントを参照してください。
- WhatsUp Gold にはクアッドコアプロセッサ (最小 2.6 GHz) が必要です。仮想マシンに WhatsUp Gold をインストールする場合は、ゲスト VM に最低 4 つの CPU コアが割り当てられていることを確認してください。さらに「[ハードウェア要件のガイドライン](#)」を参照してください。

## データベースの要件

**重要:** WhatsUp Gold へのアップグレードにより、WhatsUp Gold に付属されている SQL Server Express データベースは、SQL Server 2022 Express に更新されます。

**重要:** WhatsUp Gold のデフォルトインストールでデフォルトとしてインストールされるデータベースではなく、リモート SQL データベースを使用している場合、その他の WhatsUp Gold のデータベース設定については、『[WhatsUp Gold データベース移行管理ガイド](#)』を参照してください。

**注:** WhatsUp Gold データベースをホストするために使用される Microsoft SQL Server の照合順序は、SQL\_Latin1\_General\_CP1\_CI\_AS に設定する必要があります。Latin1\_General\_CI\_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。また、前述の各 WhatsUp Gold データベースの照合順序も SQL\_Latin1\_General\_CP1\_CI\_AS に設定する必要があります。Latin1\_General\_CI\_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。

WhatsUp Gold では、監視対象デバイスに関するデータの維持、システム設定の保存、およびユーザー設定のカスタマイズの保存を行うデータベースが必要です。データベースは WhatsUp Gold インストールと同じ場所に配置することも、リモートマシンでホストすることもできます。WhatsUp Gold のデータサービスは、次のデータベースサーバーで提供できます。次のデータベースバージョンがサポートされています。

- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2022

## Web サーバーの要件

IIS がサポートされているプラットフォームでは、WhatsUp Gold のインストーラによってこれらが自動的にインストールされ、有効になります。WhatsUp Gold には、IIS の次の Web サーバー役割サービスが最低限必要です。

- Web サーバー
- ASP .NET
- 静的コンテンツ
- HTTP リダイレクト
- 既定のドキュメント

## フレームワーク要件

WhatsUp Gold には、スクリプト作成をサポートするために Microsoft .NET Framework およびその他の Microsoft パッケージが必要です。必要なソフトウェアフレームワークおよびサポートパッケージは次のとおりです。

- .NET 4.8 (インストールプログラムに含まれています)。
- PowerShell 2.0 (PowerShell スクリプトを作成する場合に必要。WhatsUp Gold インストーラには含まれていません。PowerShell のインストールの詳細については、Microsoft MSDN の Web サイトをご覧ください)。
- Microsoft Windows Scripting Host v5.7 以降。
- Microsoft SAPI 5.1 (テキスト音声変換アクションに必要です)。

**重要:** Microsoft .NET Framework オプションが必要です。ただし、Microsoft .NET Framework オプションでは次の機能/コンポーネントのオプションを有効にすることはできません。 [.NET Framework Windows Communication Foundation HTTP アクティブ化] および [Windows Communication Foundation 非 HTTP アクティブ化]。

## Web インタフェースの要件

WhatsUp Gold では現在、次の Web ブラウザを使用できます。

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox

**ヒント:** WhatsUp Gold は、いずれの Internet Explorer バージョンも互換性または互換モードでサポートしていません。

## ログ管理の要件

WhatsUp Gold ログ管理機能は、監視対象デバイスからログデータを収集し、そのデータをレポートおよび分析用に Elasticsearch データベースに保存します。Elasticsearch データベースは、WhatsUp Gold サーバーにローカルにインストールすることも、Elasticsearch のリモートインスタンスにすることもできます。

WhatsUp Gold サーバーでは、リモート Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上
- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 16 GB 以上

WhatsUp Gold サーバーでは、ローカル Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上

- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 32 GB 以上
- ディスク領域: 585 GB 以上

## ポーラーの要件

ネットワーク環境と製品展開に応じて、WhatsUp Gold は 1 台の WhatsUp Gold サーバーと追加のポーラーによって、メトリックを最大で 100,000 までポーリングできます。WhatsUp Gold システムにポーラーを追加でインストールすると、アクティブモニタデータとパフォーマンスモニタデータを WhatsUp Gold サーバーに転送できます。ポーリングアクティビティを複数のポーラー間に拡張すると、WhatsUp Gold がポーリングし、データを収集して WhatsUp Gold システムに送り返すことのできるデバイスの数が増えます。ポーラーを追加することで、WhatsUp Gold はポーリングをより多くのネットワークデバイスに効率的に拡大し、結果としてより大きなネットワークを監視および管理する能力を提供できるようになります。追加のポーラーは、WhatsUp Gold サーバー以外のネットワーク上のどの Windows システムにもインストールできます。

	各追加ポーラーの最小要件
プロセッサ	クアッドコア
RAM	4 GB
ハードドライブのアプリケーション用空き領域	2 GB
OS の要件	上記の「オペレーティングシステム要件」のセクションを参照してください。

## WhatsUp Gold のインストール

WhatsUp Gold の導入で適切な操作とセキュリティ保護を維持するには、次のことをお勧めします。

- WhatsUp Gold とすべてのコンポーネントを施錠されたサーバールームまたはキャビネットにインストールし、物理的なアクセスが信頼できる管理者に制限されるようにします。
- WhatsUp Gold ソフトウェアコンポーネントを専用サーバーにインストールします。これらのサーバーを他の目的に使用しないでください。

WhatsUp Gold の最近のバージョンは WhatsUp Gold v20.0.2 以降からの直接アップグレードインストールをサポートしています。古いバージョンの WhatsUp Gold を実行している場合は、最新バージョンの WhatsUp Gold をインストールする前に、まず v20.0.2 にアップグレードする必要があります。アップグレード後にユーザーインターフェイスに新しい Web アプリケーションページが表示されるように、ブラウザのキャッシュを必ずクリアしてください。アップグレードを行う前に、必ずデータベースをバックアップしてください。WhatsUp Gold に含まれる SQL Express データベースを使用している場合は、アップグレードに進む前にインストーラ/アップデータでバックアップ作業を行うことができます。インストール、アップグレード、修復、およびアンインストールの詳細については、[『WhatsUp Gold のインストール』](#)ガイドを参照してください。

**重要:** WhatsUp Gold カスタムデータベース変更のアップグレードはサポートされていません。WhatsUp Gold インストーラは、WhatsUp Gold データベーススキーマに対するデータベースの変更を検出した場合、警告を表示してインストールを継続します。将来の WhatsUp Gold リリースでは、インストーラの警告に対処するまでインストーラが先に進まないようになる予定です。

### オフラインでのインストールとアクティベーション

**重要:** インターネットに接続しているマシンでアカウントからパッケージをダウンロードし、目的のサーバーでインストーラを実行します。アクティベーション番号の入力を求められたら、[オフラインアクティベーションモードを使用] を選択してアクティベーションプロセスを続行します。評価者ライセンスをお使いでアカウントへのアクセス権がない場合は、[カスタマーサービス](#)までお問い合わせください。

**注:** IPv6 のみの環境では、オフラインアクティベーションを使用する必要があります。

### 製品ライフサイクルに関する情報

現在サポートされているバージョンについては、「[WhatsUp Gold ライフサイクル](#)」ページを参照してください。

### 著作権表示

Progress Software Corporation の現在の製品ドキュメントの著作権表示/商標説明を確認するには、次のページにアクセスしてください: <https://www.progress.com/legal/documentation-copyright>。